



☆城西中が目指すもの☆

★ 学校教育目標

『未来の創造』

未来の創造とは、未来の幸せな自分・社会を創造すること。未来は、生徒が学び続ける姿の延長線にあります。私たち（教職員）は、全ての教育活動を通して、主体的に学び続け、未来を創造していく人材を育成したいと考えています。

それは、ただ従順に先生の指示に従い、テストで100点をとる生徒を育てるものではありません。自らが考え、仲間とともに協働的に学び続け、学びを広げて新しい価値を作りあげ、学校や社会をよりよく変えていける真の学力と実践力を身につけていくことを目指します。

★ 学校経営方針

『城西中にかかわる全ての人に、笑顔と幸せを。』

教職員の使命は、日々生徒たちに「笑顔と幸せ」を渡すことです。生徒の今を大切に、笑顔と学ぶ幸せを渡しつつ教育活動を行うことが、未来を創造することにつながると信じています。そして、教職員・保護者・関わっていただく地域の方々など全ての人に、笑顔と幸せを感じていただける学校づくりを目指します。

★ 研究主題

『学び合い・認め合う城西流協働学習の実践』

～一人も見捨てない生徒主体の学校づくり～

学習指導要領の趣旨に則った学び合う授業（城西流協働学習）に全ての授業で取り組みます。学力を向上させることはもちろんですが、互いに学びを支え合う仲間づくりにも努め、生徒と教職員が一丸となって、一人も取りこぼさない授業づくりに挑戦します。

★ めざす生徒像

- 自ら協働できる生徒
- 自ら考えをもち行動できる生徒
- 学んだことから新しい価値を創造できる生徒

★ 生徒会の目標

『明日も来たいと思う学校』

全ての生徒が、「明日も学校に行きたいな」と思える行事や活動を、生徒が主体となって進めていきます。

これらの目標の達成は、生徒と教職員だけで成し得るものではありません。保護者や地域の方々と一緒に進んでいきたいと思えます。今年度も「チーム城西」「城西家」の一人として、どうかご協力をお願いします。

☆中間テストがなくなります☆

今年度から中間テストが無くなり、全ての学期で期末テストだけとなります。

これからは、単元ごとにテスト（またはそれに替わる作品制作等）を行い、その結果を生徒に返すことで、自分の学習を振り返る機会を増やし、年間を通して学習方法を改善し、向上さ

せるための「単元テスト」に切り替わっていきます。評価については、裏面を確認していただければと思いますが、評価のためだけに行うテストではありません。（期末テストは、学期を通した学習内容が定着しているかを確認するために行います。）

それに伴い、勉強もこれまでのように「テスト発表期間だけ頑張ればよい」ということにはならず、毎日の授業や単元ごとの復習がとても大切になりますので、より家庭学習を充実させることが必要です。確実に力をつけて、夢を実現していけるように頑張りましょう。

☆吹奏楽部が Welcome コンサート！☆



4月22日（木）に吹奏楽部が、新入生の歓迎のためのコンサートをを行いました。本来は中庭での開催予定でしたが、雨天のため空き教室を活用して開催しました。

曲はわずか3曲（アンコールを合わせて4曲）のミニコンサートでしたが、久しぶりに聞く生の演奏に、多くの生徒が駆け付け、手拍子をうったりしながら、音楽を心の底から楽しみました。コロナ禍でなかなか発表の機会がありませんが、これからも吹奏楽部の活躍に期待しています。吹奏楽部の皆さん、また素敵な演奏を聞かせてください。



☆ PTA 総会が行われました ☆

4月23日（土）には、参観授業のあとPTA総会が行われました。その中で、本年度の役員さんが決定しました。どうぞ一年間よろしくお願いいたします。

- 会長 野村 美代子さん
 副会長 西森 敏光さん 竹本 裕輔さん
 山川 真実さん 永原 潤一（学校長）
 監査 上田 里奈さん 町田 千春さん

※ 他の役員さんは、5月26日（木）に行われるPTA運営委員会で決定されます。現在、学級役員さんを決定しています。ぜひとも一緒にという方は、担任までお知らせください。

☆地域学校協働本部を開催☆

本校では、生徒の健やかな成長を育むために、地域ぐるみの教育活動を推進するとともに、地域の活性化を目指す地域学校協働本部が設置されています。

この会議では、生徒会の代表も参加して、学校の課題や地域に出ていったり、地域の方に協力していただいたりする授業のこと、祭りなどの地域の行事や地域で行われている様々な活動のことなど、協力できることを話し合っています。

- 会長 佐野 二代さん 副会長 加田 貴士さん
 地域コーディネーター 合田 国生さん（第四小校区）
 末信 力さん（第六小校区）
 西森 俊仁さん（旭東小校区）

- 委員 野村 美代子さん 杉本 佳枝さん 田村 豊さん
 利岡 庸宏さん 道願 光太郎さん
 田村 恵子さん 吉村 栄一郎さん

『学習の評価』 特集号！

何が変わったの？

学期ごとに通知表でお知らせする学習成績は「学習指導要領」をもとにつけられています。その「学習指導要領」が改訂され、昨年度から全国の中学校で全面実施になりました。

昨年度、評価の変更点についてお知らせしましたが、年度当初ですので改めて説明します。

まず知ってほしいのは、評価の意義です。現在の評価は、「絶対評価」といい、順位（集団の中の位置）を示すものではなく、自分が各教科の目標に達しているかどうかを判断するためのものです。ということは、生徒の皆さんが自分の目標到達度を知り、これからの学習に活かしていくために評価があります。決して、進学先（高校等）へ報告するためにあるものではありません。

新学習指導要領で、評価において大きく変わった点が観点別評価の項目です。具体的には、一昨年度まで4観点（国語は5観点）だったものが、全ての教科で

- ① 「知識・技能」
- ② 「思考力・判断力・表現力」
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」

の3観点になりました。



評定はどうつけるの？

どの教科でも、まずは上記の3観点一つひとつについて、一人ずつA・B・Cで評価をします。その際には、

- A: 「十分満足できる」状況と判断できるもの
- B: 「おおむね満足できる」状況と判断できるもの
- C: 「努力を要する」状況と判断できるもの

という学習指導要領で示された基準で評価をします。ここで注目してほしいのは、B評価とは、いわゆる可もなく不可もない「真ん中」の意味ではないことです。Bとはおおむね満足できる状況のことであり、学校は全員がB以上になることを目指します。

また、評定「5・4・3・2・1」については、観点別評価の結果をもとにして、

- 5: 「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの
- 4: 「十分満足できる」状況と判断できるもの
- 3: 「おおむね満足できる」状況と判断できるもの
- 2: 「努力を要する」状況と判断できるもの
- 1: 「一層努力を要する」状況と判断されるもの

という基準で決められます。例えば観点別評価がA・A・Aの場合、評定は4以上となり、その中で特に程度が高いと判断できる場合に5となります。

なお、3観点の教科ごとの詳しい内容や評価の基準については、「各教科の観点別評価について」を改めて配付します。

評価とテストの関係は？

これまでに説明してきたように、皆さんが目標到達度を知り、これからの学習に活かしていくために評価があります。

学習が定着しているかを確認するテストの目的もこれと同じです。

テストにおいては、できたかできなかったか、が重要なのではなく、どこができなかったのか、それはなぜか、どうすればできるようになるのかを考え、学習を改善していくことが大切です。

そのために、本年度から中間テストを廃止して、単元ごとに振り返りができるように、単元テストに取組むことになりました。

「主体的に取り組む態度」の評価はどうなるの？

次に、大きく変わった「主体的に学習に取り組む態度」の評価について、本校での授業スタイル「城西流協働学習」と併せて説明します。

本校では、新学習指導要領に則して生徒の資質・能力を育むため、「城西流協働学習」と題して、グループ学習を中心とした学び合う授業に取り組んでいます。

この「城西流協働学習」は、

- ① 「すすんで（積極的に）仲間と学び合う。」
- ② 「粘り強く課題に向き合う。」
- ③ 「協働的に課題解決に向かう。」
- ④ 「学習方法を工夫改善しながら学ぶ。」

ことを目指す授業スタイルです。

この4つの視点こそ、新学習指導要領に評価の規準として示されている「主体的に取り組む態度」そのものです。

つまり、「すすんで」、「積極的に」、「粘り強く」、「協働的に」、「工夫して」学習に取り組んだ生徒が、「おおむね満足できる」としてB評価以上になるということです。

「城西流協働学習」にしっかりと取り組み続けることで、B評価以上の成績が期待できます。

その反面、（授業では頑張っていないけど）「とりあえずノートやワーク、作品だけは提出する」「先生や友人に声をかけられたときだけ学習する」「学習したり、しなかったりする」といった場合は、C評価になる可能性が高まります。

また、「黙々と板書を丁寧にノートへ写している」という一人学びだけができていても、A評価にはなりません。

もちろんノートやワークシートの記述内容等もていねいに評価していきますが、一番重点的に評価するのは「授業中にどう学んでいるか（学ぼうとしているか）」です。



授業を大切にす

「授業で、仲間とともに協働的に学ぶ」ことで、新学習指導要領が求める資質・能力「主体的に学ぶ態度」が身に付いていきます。これからは、「塾でやっているから、授業は頑張らなくても大丈夫…」という考えはこれまで以上に通用しません。

授業を大切に、そして仲間との学びを大切にしてください。